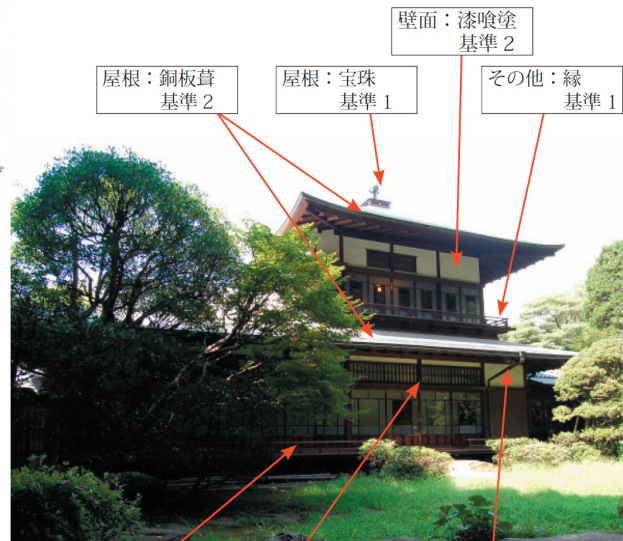
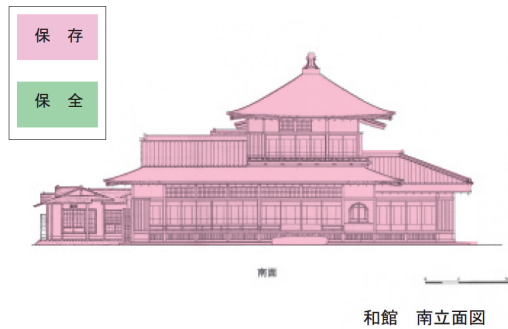


例：

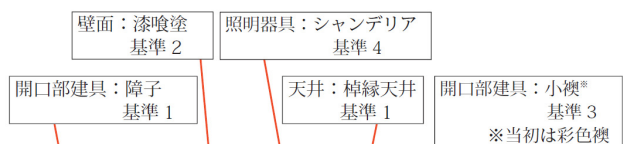
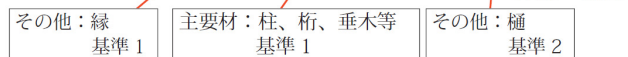
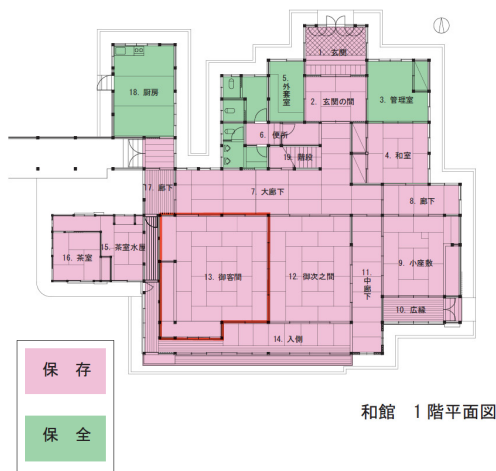
和館

保存部分 外部 南面



和館 1 階

保存部分 御客間



主要材：柱、長押、敷鴨居等
基準 1

その他：琵琶棚
基準 1

開口部建具：小襖[※]
基準 3
※当初は彩色襖

床面：畳敷
基準 2

壁面：布貼[※]
基準 3
※当初は金雲砂子紙貼

その他：違棚
基準 1

御客間 西面

図 3-4 部分・部位の設定

2. 整備の方向性と修復計画

各建造物の現状と復原資料の残存状況を考慮し、整備の方向性と修復計画を下記のとおりとします。

抄：【和館】

部 位	整備の方向性	短期修復計画	中長期修復計画
一階座敷の貼壁	布貼壁を紙貼壁(金砂子)とする	・耐震補強	・屋根棧瓦葺、銅板葺の全面葺替、下地の修復
内部壁(蟻壁以外)	漆喰塗を色土壁または中塗仕上げとする	・谷周辺などの屋根部分葺替、下地の修復	屋根形状が複雑な建物であり、軸部等の長寿命化のためには常に屋根の状態に注意する。
座敷部分の襖	当初の襖絵の模造品を整備する	・小動物侵入箇所の点検・防止	
杉板戸	当面通常使用し、活用状況により検討する	・茶室水屋柱足元の腐朽箇所根継、周辺壁の剥落箇所塗替	・外面板壁の修復
2階御居間の照明	保管してある当初器具に取替える	・茶室床の間壁面の小剥落箇所塗替	・畳表替え、建具の調整、障子紙張替え
茶室北側建具(道幸)	古写真の笹戸を復旧する	・御次之間鴨居脱落箇所の修復	・雨樋の更新
茶室内壁腰張	客側は湊紙(紺色)二段とする	・一階雨戸の板割れ箇所の修復	・電気設備、衛生設備、防災設備の更新
茶室外面建具	欠失している古写真の掛雨戸を復旧する	・建具の調整	
厨房内部	現状のまま、または活用により整備する	・天井シミの改善	
一階受付の柱間装置	現状のまま、または活用により整備する		

【失われた建造物】

建造物名称	失われた時期	整備の方向性
茶室南側の庭中門	不 明	復原を目指す
煎茶室	昭和 24 年(金沢成興閣へ移築)	復原の可能性を検討する
煎茶室北門	不 明	当面現在の建仁寺垣を維持管理する
霊 社	接收期	遺構の保護
事務所	公園期(昭和 40 年代)	当面現状のまま
車 庫	公園期(昭和 40 年代)	当面現状のまま
機械室	公園期(昭和 40 年代)	当面現状のまま
馬 繋	公園期(昭和 40 年代)	当面現状のまま



図 3-5 失われた建造物 (前田家所蔵写真に彩色したもの)